

- ◆令和7年10月8日（水）、インフラメンテナンス九州フォーラム2025は、「連携の先に,みんなで“つなぐ”インフラの未来」と題し、昨年に引き続き、「インフラメンテナンス市区町村長会議 九州・沖縄ブロック」と「インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム」の合同で開催された。
- ◆第1部では、国土交通省総合政策局の森下公共事業企画調整課長より「国土交通省のインフラメンテナンスに関する取組について」、大臣官房参事官の外園課長補佐より「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた管路マネジメントの転換について」について講演され、国土交通省の取組内容やインフラマネジメントの方向性などについて説明された。
- ◆第2部の市区町村長会議では、長崎市より市町村におけるニーズ調査結果の報告がされた後、各県企画委員である松永柳川市長、小松武雄市長、鈴木長崎市長、大西熊本市長、棕野日田市長、中西鹿屋市長及び松本浦添市長より、各県の市町村が抱えている課題や取組事例の紹介が行われた。さらに、ブロック幹事である鈴木長崎市長より「群マネ」を含めた連携の重要性やインフラメンテナンスの更なる推進に向けた決意を新たに示された。
- ◆第3部のパネルディスカッションでは「連携と実行～群マネに挑む挑戦者たち～」をテーマに、冒頭AI動画を用いて日常生活を支えるインフラメンテナンスの重要性に触れ、間もなくお届けとなる「群マネの手引き」や、自治体の束(垂直、水平連携)、技術者の束(人の群マネ)の取組みを紹介いただいた。
- ◆今回のフォーラムでは、様々な登壇者による意見や活発な議論が展開され、人と人の“つながり”がインフラメンテナンスの未来に“つながる”多くの気づきが示されるイベントとなった。

〈日 時〉令和7年10月8日(水) 13:00～17:30
〈会 場〉福岡国際会議場（メイン会場）411・412会議室
（サブ会場）410会議室
〈会場参加〉222名
〈WEB参加〉370名
合計592名

